

地域における「日本語教室の活動」の認知度向上

西 1 4

吉野川市国際交流協会

細谷裕重

1. 研修で設定した課題の背景、 および実践の内容

吉野川市の日本語教室の紹介



日本語教室は吉野川市国際交流協会（YIA）が運営

日本語教室は毎週日曜日に市内2カ所で開催

山川教室

2019年に開設
ボランティア3名



鴨島教室

30年の歴史
ボランティア7名

※毎月1回程度の
交流イベント

【日本語教室の運営方針】

「外国人にとって心の拠り所」になる

単なる日本語学習の場でなく、外国人が日本人に気軽に悩みの相談ができる環境づくりを目指す

課題

- 教室運営は日本語ボランティアと学習者できるかぎりマンツーマンが望ましいが、実際には必要なボランティア人数が確保できていない状態が続いている。
- ボランティア募集について、これまでもYIA会員向け会報誌・ホームページに案内を掲載してきたが、十分な成果はあげられていない。

実践の内容

- ボランティア活動に興味のある人に「日本語教室の活動」の情報を伝える方法を検討する

2. 実践を通して「行ったこと」 「考えたこと」の変遷

コーディネーターとして日本語教室の活動内容を 情報発信（2022年8月～）

- ボランティア募集の新たな取組みとして、Facebookの有料広告で日本語教室の紹介をおこなった。
その結果、フォロワーは増えたが、ボランティア応募はなかった。



- 日本語教室の活動紹介のため、地元高校・社会福祉協議会などを訪問するも、挨拶程度で今後の活動につながるような話にはならなかった。

【反省】

- コーディネーター個人の活動では限界がある。
- 日本語教室の上部団体である吉野川市国際交流協会（YIA）を巻き込んだでの活動に変更

実践を通して「行ったこと」「考えたこと」の変遷

- コーディネーターとして日本語教室の活動内容を情報発信
(2022年8月～)

【反省】 コーディネーター個人の活動では限界がある。

- 吉野川市国際交流協会 (YIA) 理事会でのプレゼン
(10月29日)
- 「日本語教室の運営」「外国人との交流イベント」のSNS発信
(11月～)
- 川島高校ボランティア部へ YIA会長と渉外担当理事が訪問
(12月26日)
- YIA広報担当理事による吉野川市の広報誌、徳島新聞「情報とくしま」
(2月予定) へのイベント情報掲載

【結果】 吉野川国際交流協会の協力を得て、初めて成果ある活動になった

吉野川市国際交流協会（YIA）理事会での プレゼン（10月29日）

● 理事会にて日本語教室の状況を報告

YIAでは、吉野川市の委託で運営していた「市民向け英会話教室」が令和4年3月で終了、英会話教室の運営にかかわっていた会員の退会が相次いでいた。

ちょうどYIAとしても協会の運営方針を見直す時期にあった。

理事会で協議の結果の結論

- ◆ YIAが日本語教室の運営支援をする
- ◆ YIAとしても、これまでは会員向けの情報発信が中心であったが、今後は外部への情報発信も積極的に行う
- ◆ YIAが行う「外国人との交流活動」としての日本語教室を紹介し、「日本語教室の認知度向上」を目指すことから始める

「日本語教室の運営」「外国人との交流イベント」の SNS発信（11月～）

- YIA イベント情報（11月バスツアー、12月国際理解講座）
をFacebookの有料広告で発信したところ会員以外から参加申し込みがあった。
- Facebookの有料広告は、
8月に日本語教室ボランティア募集で利用し
効果がなかった

イベント参加募集ではSNS効果が見られた。

Facebook有料広告での情報発信

YIA会員募集

オーディエンス詳細

地域 - 居住地: 日本: 吉野川市役所 (+10 km)

年齢: 18歳~65+歳

言語: 日本語

次の条件に一致する人: 興味・関心: ボランティアまたは外国語

広告

完了

...

結果を見る

メッセージ

国際交流、ボランティア活動に興味がある方、ご参加をお...



1,363

リーチ

--

メッセージスレッド開始

¥ 3,500

予算: ¥ 3,500



吉野川市国際交流協会

広告

... X

国際交流、ボランティア活動に興味がある方、
ご参加をお待ちしています。

お申し込みは：070-5543-2842（萩森）まで

2022年12月

国際理解講座の案内

「外国人実習生と日本語教室について」

地域で働く技能実習生や特定技能の外国人が増えています。外国人
の受入れ制度、地域で外国人と一緒に生活するための課題、および日
本語教室の役割についてお話しします。気軽に参加してください。

➤ 日時：2022年12月17日（土） 10:00~11:30

➤ 場所：吉野川市文化研修センター 多目的ホール

➤ 講師：萩森 健治（はぎもり けんじ）

吉野川市国際交流協会・会長

講師プロフィール

1946年10月7日 大阪府八尾市生まれ
2008年に建設会社を定年退職し、吉野川市に定住。
同年、吉野川市国際交流協会に入会。2015年5月会長に就任し、現在に至る。
日本語教室でボランティア講師として外国人受講生らに日本語指導を行うほか、バス
ツアー、もちつき大会、浴衣・着物を着付け体験会などのイベント活動にも参加。
趣味は、フィールドホッケーと長瀬三味線。



➤ 参加費：無料

➤ 問合わせ・申し込み先：吉野川市国際交流協会 萩森 健治

TEL：0882-24-8653 携帯：070-5543-2842

【気づき】

SNSの読者にとって、日本語ボランティアの参加はハードルが高いが、単発のイベントには気軽に参加できる。まずは関係者のすそ野を広げるのにSNSは効果がある。

ボランティアに興味がある人
(Facebook投稿に「いいね」をつける人)



イベントに参加する人 (月1回程度の参加)



日本語ボランティアに参加する人
(毎週日曜日の参加)

川島高校ボランティア部へ

YIA会長と渉外担当理事が訪問（12月26日）

- YIA会長と渉外担当理事が川島高校を訪問、YIAの活動（交流イベント、日本語教室）を紹介し、生徒が活動に参加していただけるかを打診した。
- 川島高校では、毎年夏休みにSummer Challengeという活動をしており、その活動の1コマをYIAが担当してはどうかとの提案をいただいた。また進路での調査書にボランティア活動の記載はポイントになることもあり、生徒がYIAの活動に興味をもって個人的に参加することは問題ないとの意見を頂いた。
- 今後、Summer ChallengeでのYIA参加について具体的な内容を話し合うことになった。

吉野川市の広報誌、徳島新聞「情報とくしま」への イベント情報掲載（2月予定）

- YIA広報担当理事が連絡役となり、吉野川市の広報誌、徳島新聞「情報とくしま」へのイベント情報掲載の準備を進めている。ただし吉野川市の広報誌は発行の2か月前に原稿が締切られることから、掲載は2月となる予定。

3. 今回の実践を通じて、地域日本語教育 コーディネーターとして果たした役割

- 今回の課題解決に向けて、地域日本語教育コーディネーターだけの活動では限界があることを痛感した。
- 吉野川国際交流協会の協力を得て、初めて成果ある活動になった。
コーディネーターの役割は
「協力者を見つけて⇒理解を求め⇒協働する」
ことと改めて認識した。

4. 地域日本語教育コーディネーターとして 自身が大切にしたい視点

- 私が大切にしたい視点は次の2点です。
 - ① 外国人が日本語教室にくることで居心地の良さを感じられること
 - ② 日本人ボランティアが無理なく参加でき、活動を通じて充実感を感じられること
- その実現にあたり、地域日本語教育コーディネーターは、これらの環境作りのお膳立てをする黒子的な存在でありたいと考えています。

5. 実践において、難しいと感じたこと、 今後に向け知りたいこと

- 地域日本語教育コーディネーターは世話役ではあるが、地域に精通した協力者なしでは成り立たない。
私自身が、地域の人とのつながりをもっと強めたいと考えている。
- 今回活動は、YIAの協力を得て新しい取組がスタートした。
しかし未だ成果は上がっていない。
今後、効果を見極め、成果が上がったものは来年度も継続し、成果の出ないものは改善を模索したい。